

A 一人ひとりへの的確な理解と多様な学びの場における教育

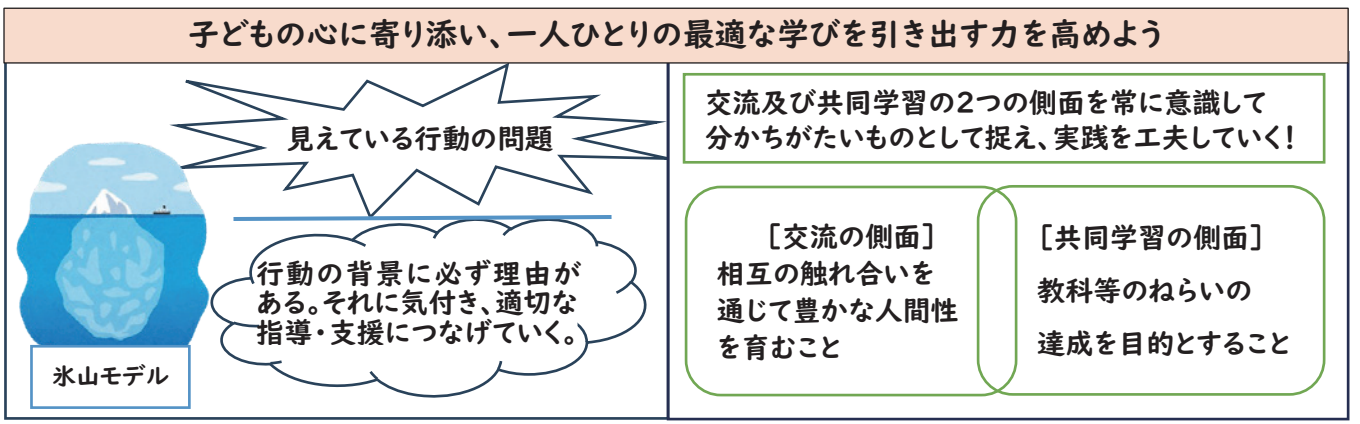
☆子どもの行動の『背景』について学びたい。

☆交流及び共同学習や通級による指導の具体的な実践事例が知りたい。等

学びのキーワード

- ① 特別支援教育を取り巻く状況
- ② 早期からの気づきと的確かつ多面的な理解
- ③ 交流及び共同学習の推進・障害理解
- ④ 発達障害の特性の理解と対応
- ⑤ 特別支援学級及び通級による指導の制度

学びのポイント



学びの手がかり

子どもの心に目を向けるポジティブ行動支援 —ASD 指導事例集— 〔令和4年3月〕		・自閉症の特性や基本的な対応について理解を深められます。 ・指導方針検討のヒントが得られます。 ・事例検討における指導の評価・改善の参考にできます。
「よりよい『交流及び共同学習』を進めるために」 〔平成28年3月〕		・交流及び共同学習の意義や、進め方が示されています。 ・学校間交流や地域交流など様々な実践例を学ぶことができます。 ・合理的配慮の提供についても学ぶことができます。
高等学校等における「通級による指導」ガイドブック 〔令和2年3月〕		・通級による指導について具体的な実践事例等で示されています。 ・自立活動の指導のポイントや留意点等を学ぶことができます。 ・関係者との連携や進路支援についても詳しく学ぶことができます。

校内での学び方(例)

- 特別支援教育を取り巻く状況について学校や地域の現状や課題を先生方と話題にしてみましょう。
- 子どもの行動の「背景」について考え、先生方と話し合ってみましょう。
- 校内で行われている交流及び共同学習を参観してみましょう。
- 特別支援学級や通級による指導に参画してみましょう。(交換授業など)

めざす目標(「山口県教員育成指標」から)

	ステージ1 実践	ステージ2 協働	ステージ3 リーダーシップ
教諭	○ 障害等により困難を示す児童生徒の気持ちや、その背景を理解し、適切に対応している。	○ 児童生徒の障害者理解を深める指導や交流及び共同学習の内容・方法の改善に努めている。	○ 児童生徒の障害者理解を促進するための実践を蓄積し、校内への普及・継承を進めている。

B 教育的ニーズに応じた指導・支援

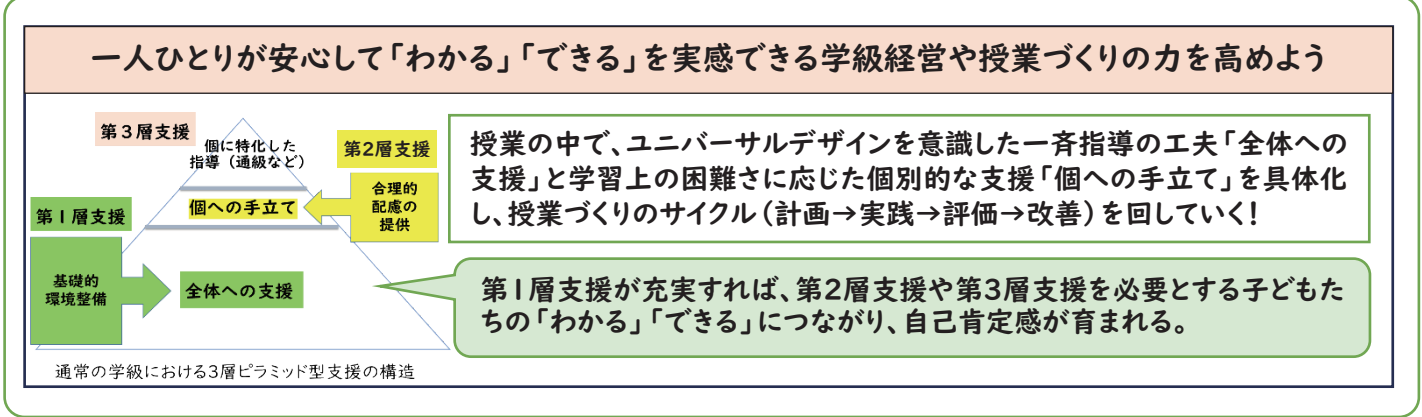
☆特別支援教育の視点を取り入れた学級づくり・授業づくりのポイントが知りたい。

☆合理的配慮について基礎から学びたい。等

学びのキーワード

- ⑥ 温かい学級経営
- ⑦ 分かりやすい学習指導
- ⑧ 合理的配慮の提供

学びのポイント



学びの手がかり

通常の学級における特別支援教育の充実のために ～「個別的な支援」と「集団への指導」による取組～ 〔平成26年3月〕		・「教室環境」「学級経営」「授業づくり(一斉指導)」「授業づくり(個別的な支援や配慮)」「全校体制」の5つの項目ごとに、大切となるポイントがチェックシートで確認できるようになっており、指導・支援に生かせます。
通常の学級における特別支援教育の視点を取り入れた授業づくりの進め方 〔令和3年3月〕		・学習指導案の作成のポイントや授業づくりの進め方について学ぶことができます。 ・一斉指導の工夫例や個別的な支援の例を写真で示しており、イメージがもちやすくなります。
学校における「合理的配慮」の提供 ～ともに「学び」、ともに「輝く」～ 〔令和2年3月〕		・合理的配慮の概念について、理解を深めることができます。 ・合理的配慮の具体例が示されています。 ・合理的配慮を検討する際にチェックリストが役立ちます。

校内での学び方(例)

- 学びやすい教室環境となるよう工夫している点を先生方と紹介し合ってみましょう。
- 授業での「学びやすさ」につながっているポイントを先生方と伝え合ってみましょう。
- 1人1台タブレット端末のアクセシビリティの機能(読み上げ機能や文字変換機能等)を体験してみて、どのような学習場面で活用できそうか、話し合ってみましょう。

めざす目標(「山口県教員育成指標」から)

	ステージ1 実践	ステージ2 協働	ステージ3 リーダーシップ
教諭	○ 障害等による困難に応じた多様な学習指導、学級経営の方法を知っている。又は活用している。	○ 特別支援教育の視点を取り入れ、自分の学習指導、学級経営、生徒指導の幅を広げている。	○ 特別支援教育の視点を踏まえた学習指導・学級経営・生徒指導の実践を蓄積し、校内への普及・継承を進めている。

C 校内支援体制・連携協働

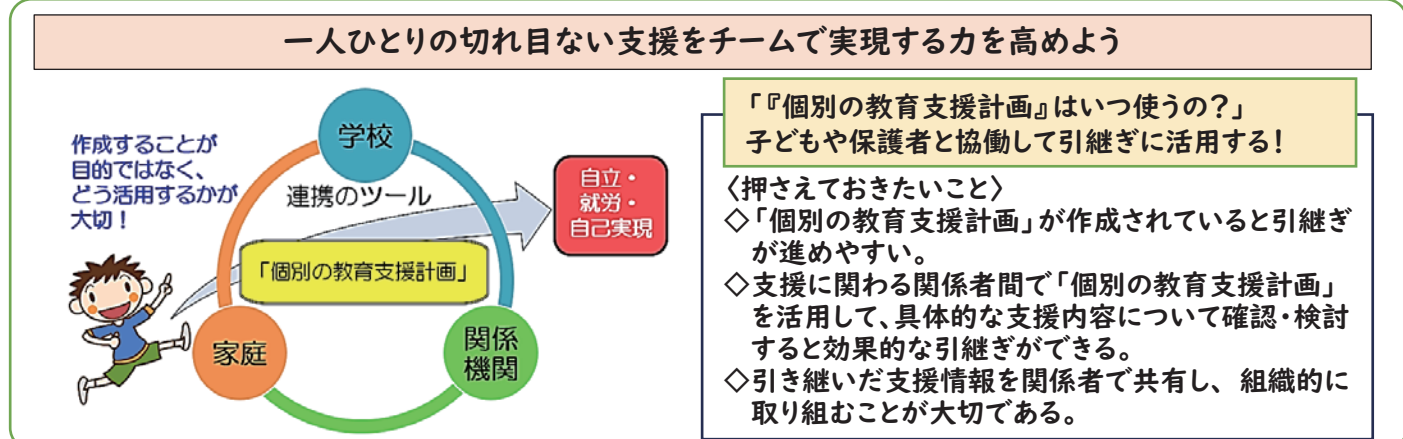
☆個別の教育支援計画の作成の手順やポイントについて知りたい。

☆校内支援体制や関係機関との連携について学び、日ごろの指導・支援に生かしたい。等

学びのキーワード

- ⑨ 校内支援体制による取組
- ⑩ 本人・保護者との協働
- ⑪ 特別支援学校のセンター的機能の活用
- ⑫ 専門家・関係機関との連携
- ⑬ 個別の教育支援計画等を活用した切れ目ない支援

学びのポイント



学びの手がかり

個別の教育支援計画 Q&A 及び記入例 第3版 〔令和3年3月〕		・個別の教育支援計画の作成、個別の教育支援計画を活用した引継ぎや合理的配慮の提供について、Q&A形式で学ぶことができます。 ・特別支援学校・特別支援学級の記入例の他に、通常の学級の場合の記入例、引継事項や留意点などの記入例も示されています。
特別支援教育 校内コーディネーター ガイドブック 〔平成27年3月〕		・校内コーディネーターの役割等が具体的に示されています。 ・校内支援体制の構築や校内委員会の役割、事例検討会の運営方法などがコンパクトに示され、組織的な支援を進める上で役に立ちます。
支援をつなぐ(研修編)より 「事例検討会の進め方」 〔平成21年3月〕		・校内資源の活用や支援マップの作成など、校内支援体制の整備・充実を図るためのヒントを学ぶことができます。 ・事例検討会の進め方やそのポイントがわかりやすく示されています。

校内での学び方(例)

- 個別の教育支援計画や個別の指導計画の作成・評価の話し合いに参加してみましょう。
- 日々の授業や学校生活の中で、支援を必要とする児童生徒に気付いたら、まずは校内コーディネーターに相談し、必要に応じて特別支援学校のセンター的機能や相談機関を活用してみましょう。
- 保護者と協働して子どもの支援につながったエピソードを先生方と伝え合ってみましょう。
- 校内の教育支援委員会やケース会議に参加してみましょう。

めざす目標(「山口県教員育成指標」から)

	ステージ1 実践	ステージ2 協働	ステージ3 リーダーシップ
教諭	○ 校内支援体制における取組の仕組みや個別の教育支援計画や個別の指導計画の活用、他の教職員や校内コーディネーター、家庭、関係機関と連携して支援している。	○ 個別の教育支援計画や個別の指導計画を活用し、他の教職員や校内コーディネーター、家庭、関係機関と連携して支援している。	○ 個別の教育支援計画や個別の指導計画の活用、校内委員会や事例検討会の充実等に向け、中心的役割を果たしている。